

みなみいせ

2015



32号

2015.2.1

議会だより



主な内容

平成26年 第4回	
12月定例会	2～3
議会活動報告	4～5
一般質問	6～13
委員会報告	14～15
みんなのつぶやき	16～17
みんなでやっとなるで～ ほか	18

寒さに負けず初練習

(穂原地区)

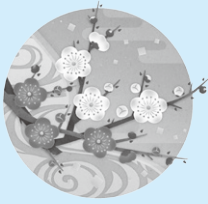
発行／三重県南伊勢町議会
〒516-0194 三重県度会郡南伊勢町五ヶ所浦3057
編集／議会広報特別委員会

平成26年 第4回定例会

認定

12月9日から11日までの3日間、12月定例会が開催され、9月定例会で常任委員会に付託された平成25年度各会計決算の委員長報告と認定決議をはじめ、平成26年度補正予算8件、条例の一部改正7件、その他の議案2件、承認1件、同意2件、請願1件がありました。

また、一般質問では8人の議員が質問を行いました。



●平成25年度南伊勢町下水道事業特別会計歳入歳出決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町一般会計歳入歳出決算
賛成多数

反対議員
岡田 和夫
手塚 征男

●平成25年度南伊勢町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町介護保険特別会計歳入歳出決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町病院事業会計決算
全員賛成

●平成25年度南伊勢町上水道事業会計決算
全員賛成

議案

●平成26年度南伊勢町一般会計補正予算(第6号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町介護保険特別会計補正予算(第3号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町下水道事業特別会計補正予算(第3号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町上水道事業会計補正予算(第2号)
全員賛成

●平成26年度南伊勢町病院事業会計補正予算(第2号)
全員賛成

●南伊勢町一般職の任期付職員採用等に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町長及び副町長の給料及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町国民健康保険条例の一部を改正する条例
全員賛成

●南伊勢町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例
全員賛成

●町道路線の認定
全員賛成

●志摩広域行政組合の共同処理する事務の変更及び志摩広域行政組合規約の変更
全員賛成

承認

●専決処分した事件の承認を求めることについて(平成26年度南伊勢町一般会計補正予算(第5号))
全員賛成

同意

●教育委員会委員の任命について(2件)
加藤 豊也
片山 嘉人
全員賛成

請願

●集団的自衛権行使を容認した閣議決定の取り下げを求める意見書の提出を求める請願書(委員長報告は不採択)
賛成多数

反対議員

倉田 育
沢村 圭也
中山 盛
岡田 和夫
手塚 征男

補正予算 主な質疑

漁業者の所得向上をめざす

問 議員 水産業振興費の「集約市場機能強化事業補助金」は、市場の統廃合に関係するのか。

答 水産農林課長 これは、あくまでも漁業者の所得向上、集約市場の作業効率化を目指すもので、市場の統廃合に絡むものではない。



大漁祈願

整備の促進を

問 議員 農業生産基盤事業費の「工事請負費」の詳しい説明を。

答 水産農林課長 押淵区内の排水路整備工事であり、公民館から押淵川までの未整備箇所を整備していく。



よりよい環境に

実績に基づき

問 議員 病院会計予算において、年間患者数・一日平均患者数を補正した根拠は。

答 町立病院事務長 今年度上半期（4～9月）の実績を基に、年間患者数を補正した。



健康第一 早めの受診を

開かれた議会を目指し！

町内各種団体の皆さんと 意見交換会を実施しました！

※継続中

【テーマ】雇用問題・若者定住 ◎要点抜粋

加速する少子高齢化社会に直面している当町は、5年後、10年後を見据え、産業の活性化を軸に、雇用の創出、若者定住促進、そして教育・福祉・医療の環境整備を図ることが急務です。

皆さんから直接お話を聞くことで、私たち議会が行政へのかけ橋となり、より良いまちづくりにつながればと考えています。

三重外湾漁協

漁業に従事できる環境づくりが課題 畑専務

議員 漁業の現況は。

漁協 赤字を解消した後
の漁協の方向性をどうする
のか。経営を維持でき
ればいいのか。そうでは
なく、「漁業者が漁業に
従事できる環境づくり」
こそが最大の課題と捉え
ている。テーマにもある
が、環境づくりや施設整
備をして、給与制を導入
した若者の雇用も一つの
考えでもある。また、今
回の『南伊勢町魚消費拡
大応援条例』の制定はあ
りがたく思う。

議員 後継者不足の課題
は。

漁協 巻き網、海苔養殖
では少し若者が戻ってき
ているが、刺し網、一本
釣りの高齢化が進み魚価
安、燃油高騰で経営が厳
しく期待できない。また、
国、県の補助も単発で先
へはつながらないのが現
状。

議員 町をあげて県下
の水揚げをPRしては。

漁協 これだけの水揚げ
があっても県内でのPR
不足を痛感している。行
政と協力してやっていき
たい。

JA伊勢

当町出身者を積極的に採用したい 加藤組合長

議員 耕作放棄地を利用
した大規模化は。



農協 規模拡大を考え海
外研修も実施している
が、当町では難しい。地
域にあった形態を守って
いきたい。国策も農地す
べてではなく農業振興地
域のみ対象。

議員 農業の現状と課題
は。

農協 伊勢農協の所管は
2市5町。それぞれ農業
形態が違い、大型農業も
できず、生計は立てづら
い。当組合は子会社も含
め従業員は700人。当
町出身者は65人。90人は
欲しいが応募が少なく不
足している。町内に3支
店があるが人口動態を見
て、合併などの簡素化が
必至。また、事業として
も米作りは消費が減り価
格も下落し、状況は深刻
である。

議員 後継者への制度は。

農協 『あぐりん伊勢』で
青ネギの学校を実施。荒
廃地を整理し給料制で新
規就農支援を実践。今年
度は2人が卒業した。



開催日 平成26年8月4日
場所 外湾漁協本所
出席者 畑専務・畑常務
谷口常務・田岡参事
植村参事

開催日 平成26年8月6日
場所 南勢庁舎
出席者 加藤組合長
橋川理事・島田理事
山川理事・世古理事
事務局6名

観光協会

後継者問題が最大の課題

松岡会長

議員 協会の現状と課題は。

協会 伊勢神宮の式年遷宮に伴い町内への入り込み客は前年比3割増。しかし、ほとんどは日帰りで宿泊客は減少傾向。核となる観光の目玉もなく、いろんなことにチャレンジし、試行錯誤しているが、成果につながっていない。当町の知名度を上げるためにも魅力あるまちづくりを要望したい。協会としては、平成18年に合併したが、課題も残っている。今年度からさらにふれあいの会と一本化を図った。会員の実情は若者定住、後継者不足が大きな課題。

議員 当町の特色を活かしては。

協会 自然、特に海は素晴らしい。知恵を絞って思い切った企画や、PRの手法が重要。議会にも協力して頂きたい。

議員 元気な町は民間が主導となつてやっているが。

協会 夢ばかり語っていても前には進まないのので行政に要望書を提出している。余力がない中で行政の関わりに期待したい。

商工会

議員 商工会の現況は。

商工会 会員488人。25名の理事で組織。理事は会員数に応じて地域から平均的に選出。歳出の大半は人件費。補助金を充てている。会費収入は地域振興事業に使用している。

議員 会員の皆さんが望んでいることは。

商工会 会員内でも利害関係があつて、協力できても融和ができない部分もある。行政、議会、商工会が一体化できれば何かできるのでは。

区長会

議員 区の現況は。

区長会 高齢化、後継者不足、防災、空き家など、問題が山積み。また、若い世代の行事参加がままならず、役員の負担が大きい。強い危機感を抱いている。今後の町づくりのためにこのような会は継続して欲しい。

議員 区の役割は重要と考えるが。

区長会 以前にも増し行政との関わりが広がり大変。今後は議会との連携もお願いしたい。

社会福祉団体

社会福祉協議会

かもめ作業所

かえで作業所

真砂寮

議員 介護サービスを充実すれば経営は。

社協 赤字の根源は介護サービスにあるが、なくてはならないもの。社協本来のあるべき姿を考えながら、行政とともにやっていきたい。また、職員のモチベーションを維持することも重要。

議員 今後の必要な体制づくり、環境整備は。

かもめ 障がい者が安心して暮らせる町こそ本当の意味で良い町。そのような社会、町づくりを切に願う。まずはグループホームを作りたい。

開催日 平成26年8月21日
場所 南勢庁舎
出席者 松岡会長
役員20名
事務局5名



開催日 平成26年8月28日
場所 南勢庁舎
出席者 田畑会長
評議員6名

開催日 平成26年12月2日
場所 南勢庁舎
出席者 社協 山本会長
かもめ 以下4名
島田会長
以下1名
かえで 荘司理事長
以下4名
真砂寮 竹内施設長

どう守る 地域医療

「病院完結型」から

「地域完結型」へ 町長



岡田 和夫 議員



地域に必要な医療とは何か

問

病院経営と、今後の住民の支援について、医師・看護師が不足し、経営的にも困難になっている状況の中で、どのようにして当町の地域医療を守っていくのか。

答

町長 町内の医療機関や介護施設などとの協力体制の確立と、伊勢市や志摩市の医療機関との連携体制を強固にしていきながら、町立病院の「かかりつけ医」としての機能と24時間救急に対応できる機能を最大限生かして、地域医療を守っていく。

水の確保は

応急給水体制の確立をしていく

町長

問

被災時の水の確保について、ペットボトル以外に飲料水用の貯水槽を設置すべきでは。

答

町長 水源地については、直接取水できる装備や臨時取水装置を配備し、応急給水できるような施設改良や機材の整備を行う。また、二次避難所は災害時にも使用できるよう、地下水活用給水設備や災害井戸、耐震性貯水槽の整備など、それぞれの避難所に応じて、最適な設備を検討していく。



整備が進められている必要備蓄品

その他の質問

● 地域包括ケアシステムにおける老健施設について



河村健志 議員

今後の課題は

避難方法の改善が必要 町長

問 今年度は平日の午前中に9月1日の防災訓練を実施したが、今回の避難訓練で見た問題点と今後の対応は。

答 町長 各地区には高齢者や避難行動要支援者による避難をどのように進めるかということが課題となる。避難時間に15分以上要した避難場所については、再検証を行い、避難道整備や新たな場所を検討していく必要がある。

また、平日、役員や若い世代が不在になるという問題については、地区単位で独自の訓練を行い、地域全体の防災力を向上させていく。

災害用伝言ダイヤル 171

「あの人がいない」でおぼえよう171

●伝言の録音
171+1+ 自分の家の電話番号など

●伝言の再生
171+2+ 自分の家の電話番号など

このほか、災害用ブロードバンド伝言板や携帯電話各社の権限用伝言板もあります。

災害ダイヤルは「171」番

避難行動支援は

避難方法の改善が必要 町長

問 地域の特性や実績を踏まえつつ、災害発生時に一人でも多くの避難行動要支援者の生命を守るための取組・対策は。

答 町長 災害時に自力で避難することが困難な高齢者や障がいのある方に対して、災害情報を提供することや、避難行動の介助・支援が地域で行われる体制をつ

くることが大きな課題。そこで、町民の同意のもと、住民情報統合システムを活用して避難行動要支援者を把握し、名簿の作成と活用、避難対応策の検討を進めていく。



地域の防災力を高める

当町の方策は

絆プランの目標達成に

向けて取り組む 町長



岡本 眞 議員

問

政府は司令塔として「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し、地方創生担当相も新設して本腰を入れようとしているが、当町における今後の方策は。

答

町長 人口減少が著しい中、少子化・高齢化の課題に的確に対応し、安全に、安心していつまでも暮らし続けることのできるまち、活力のあるまちを創っていくため、絆プランの目標達成に向けて取り組むとともに、絆プラン基本計画の次期計画の策定作業を進めている。



笑顔になれる行政サービスを

問

地域医療の再生について、少子化や急激な人口減少が進む中、医師や看護師の不足に拍車がかかる上、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、病院の高台移転も余儀なくされているが、対策の基本となる考えは。

答

町長 6床を休床とし、一般病床50床体制で運営しているが、その中でも患者動向を見据えた入院対応や24時間救急対応、在宅医療など最大限の努力をしている。今後、病院新築移転に向けて、当町の将来の※受

※受療

診療を受けること。

今後の対策は

計画を策定する 町長



この町に必要な地域医療を



山本周也 議員

女性目線のまちづくりは

生活しやすい

環境作りを重視 町長

問 女性の活躍を応援するまちづくりを目指し、当町における若者・女性議会や委員会などの設置の考えは。

女性の活躍を応援するまちづくりを目指し、当町における若者・女性議会や委員会などの設置の考えは。

答 町長 女性が意思決定の場や、政策決定過程に参加する機会がまだまだ少なく、さまざまな場面で積極的に環境を整えていく必要があると考えている。

今後、従来の審議会や委員会などの委員構成の見直しや、あり方を含め検討していきたい。



女性に活躍の場を

介護人材不足への対応は

資格習得助成を行う 町長

問 当町では高齢化率が県内最高の45%に達し、慢性的な介護人材の不足に直面している。介護事業所の職員確保の状況と今後の見通しは。

当町では高齢化率が県内最高の45%に達し、慢性的な介護人材の不足に直面している。介護事業所の職員確保の状況と今後の見通しは。

答 町長 介護人材の不足は、町としても深刻な状況であると認識している。町内で講習料無料の「介護職員初任者研修」を実施している。本年は定員25名に対し受講者16名全員が修了した。今後は研修・補助について町民に利用促進を図

るため、広報などで周知したいと考えている。

その他の質問

●若者が将来に希望を
持てる地方の創生について

●町立病院の新設移転に関する現状と課題



求む介護人材

さんし 残滓の処理方法は

埋設場所に消石灰の散布 町長



倉田 育 議員

問 有害鳥獣の残滓処理の方法はどうしているのか、また現状の埋設方法は鳥獣保護法や廃棄物処理法など、法律にふれるおそれはないのか。



埋設場所の消石灰散布

答 町長 現在13地区において埋設場所を提供していただいて処分をしている。

また、定期的の実施隊が見回りを行い、消石灰の散布や埋め戻し作業などを行っている。
山あいなどの埋設地では、一定量まとまってか

学力向上の抜本的対策は

しっかり取り組んでいきたい 教育長

問 全国学力・学習状況調査の結果を受けてどのような学校教育の見直しを行ったのか、また具体的な小中学校の学力向上の抜本的対策は。

答 教育長 当町は、学力で全国のトップレベルを目指すという、町長の政策提言にもあるように、5年前から町の学力向上委員会を立ち上げて、各学校の取組を進めている。昨年度は小学校とも、今年度は小学校が県内トップクラスを維持し、中学校はほぼ平均だった。

町全体では、徐々に根付いてきた学力向上委員会をもっと機能させて、学力向上にしっかり取り組んでいきたい。

その他の質問

- 水道料金について
- 南海トラフ巨大地震対策について
- 病院経営について



みんな元気に手をあげて



手塚征男 議員

安全対策は

防犯対策も必要 町長

問 新設が進められている統合保育所の安全対策の検討は。

答 町長 集落から離れているため、防

犯対策に園舎内は常時施錠し、職員室にはモニター付インターホンを設置する。
また、外部からの進入を防ぐため、園庭には高



建設中の統合保育園

さ2mのフェンスを巡らせている。園庭のフェンスには開閉できるところを3か所設けており、3方向に避難できるようにしている。

また、南島西中学校舎などの跡地利用についても、できるだけ日中の利用をいただけるような検討を進めている。

町長はどのように思われたのか

社会貢献に資すること 町長



楽しく遊ぶ子供たち

問 『わくドキ南伊勢』に電力会社が子供の遊具などをもって来ていたが、町長はどのように思われたか。

答 町長 商工会からは電力会社の参加は、社会貢献活動とされていると聞いている。私としても、子供たちが喜んでエア遊具でふれあう姿を見ていると、社会貢献に資することではないかと思っている。

その他の質問

- ボランティア事故問題
- 水道料金の問題

子育て支援の充実は

寄り添った支援を 町長



掛橋 靖 議員

問

小山町政として、子育て支援や、学校教育の充実と環境整備を積極的に施策として取り組んできたが、現状の分析は。

答

町長 早朝・夕方保育の実施、病児・病後保育の受け入れなどの子育て支援環境を整備している。



みんなで楽しく

また、赤ちゃん全員訪問や乳幼児相談、子育て支援センターによる出前保育や訪問、毎月1回情報誌の配布など、子どもと母親の気持ちに寄り添った支援を行っている。

今後も子どもたちの生きる力を育むため、また、子どもの健やかな育ちを支えるための施策を実施していく。

問

新たな環境関連産業の育成や雇用の創出といった経済対策としての効果が期待されるが、導入にむけて準備調査しているバイオマス発電事業について、当町における効果・メリットは。

答

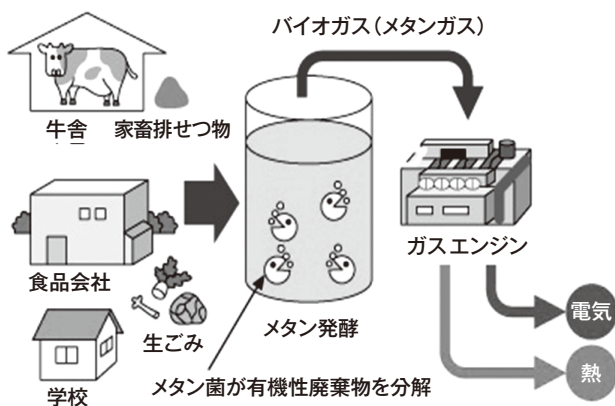
町長 メリットとしては、売電事業のほかに、温室栽培などへの活用を図るほか、アミノ酸肥料の製品開発と販売、水温加工による海産物・みかんなどのエコ製品の開発やブランド化、農林水産業の振興にも期待できるものと考えている。

また、災害時には発生するメタンガスを利用して、庁舎や防災拠点への運搬車両や発電機、調理器具等に活用できるなどの仕組みを構築し、平時からの地域エネルギー施策として地域の強靱化にも期待できるのではないかと考えている。

バイオマス発電事業のメリットは

地域の強靱化にも期待 町長

バイオガス発電・熱供給システムの概要



その他の質問

● 地域の防災対策



山本芳隆 議員

地域創生法案は

当町が進める施策を後押し 町長

問 地域活性化について、地域創生法案に対する当町の考えは。

答 町長 法律の目的としての考え方は、まさに当町が絆プランにより進めるまちづくりと方向性が同じであり、当町が進める絆プランを後押ししてくれるものと考えている。このことから、今後、「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、施策を推進していきたい。



人口減少に歯止めを

自然環境の再生・創生が重要では

漁業振興にも繋がっていく 町長

問 「海藻・貝類・魚」の住みやすい自然環境の再生・創生が重要では。

答 町長 阿曾浦では漁業者自らが漁場を守るためにガンガゼなどの有害生物の駆除を継続して行い、さらに宿浦ではこれに加え、アラメ・カジメの藻礁を設置している。

また、このほかに三重大学などの協力を得て、ヒジキ藻場の再生に取り組んでいる。

町としても、増養殖研究所や県、漁業者との協働により五ヶ所・内瀬干潟におけるアサリ採苗試験を行っており、アサリ生産の事業化とともに、アサリ資源を回復させることによる湾内の水質浄



みんなで汗をかいて

化など、環境改善にも繋がって行きたい。
このような取組を継続して進めていくことにより、自然環境の再生・創生を図り、ひいては漁業振興にも繋がっていくものと考えている。

更なる議会の活性化を目指して！

常任委員会・特別委員会

～より良いまちづくりのために
調査・研究などの活動をしています～

◎平成26年5月に新体制になりました



町内視察（子育て支援センター）

委員長	掛橋 靖
副委員長	倉田 育
委員	岡田 和夫
	中山 盛
	上村 久仁
	岡本 眞
	田中喜一郎

■閉会中の継続調査内容の確認と
町内の現状把握に努めました。

活動目標

- ・定期的な委員会の開催
- ・町内視察の実施
- ・現地調査の実践
- ・研修などの勉強会への参加

議会機能強化を目指します

教育民生常任委員会

教育・子育て・福祉・医療・生活・環境衛生・健康保険・介護保険などの調査や審査を担当しています。

閉会中の継続調査項目

1. 保育所・小中学校・高校の問題について
2. 介護保険問題について
3. 病院問題について
4. ゴミ問題について
5. 福祉施設について
6. バス運行について
7. 関連施設の防災について
8. 火葬場建設について
9. 請願について

内容については、継続調査の課題を、各担当課から説明を受け、現状把握と課題解決の方向性を議論しながら情報の共有を図ってきました。

視察に関しては、町内16か所の関連施設を回り、現地調査は通学バスの運行状況を体感しました。

この委員会は直接町民の皆さまの生活にかかわる事案が多く、専門的な項目もかかわってくるので、担当課と連携しながら7か月活動してきました。

「地域医療再生」に関する研修に出席しました。講師は城西大学の伊関友伸教授。内容は、地域医療の現状と問題解決に必要なことについて。具体的には、医師不足の現状把握と分析から、病院を取り巻く内的・外的要因の解析。そして、その病院を抱える地方行政の問題についての講義を受けました。

私たちは7か月間で、委員会を10回、決算審査を含めると12回開催し、町内視察と現地調査をそれぞれ1回実施、研修には1度参加しました。



地域医療再生研修会（東京）

参加日 平成26年11月10日
場所 東京都中央区

総務建設常任委員会

町の財政・町税・産業・建設・防災・上下水道・まちづく
りなどについて調査や審査を担当しています。

私たちは7か月間で、
懇談会3回、委員会4回、
決算審査3日間を開催
し、町内視察を1回実施
しました。

社会経済の進展に対応
して、行政が多様化・専
門化してくると、本会議
のみでは多数の議案を能
率的に処理することが困
難であり、議員におい
てもすべてに通じることが
難しくなってきました。

委員長 芳隆志也
副委員長 河村山本
委員 山本塚
委員 松葉
委員 沢村
委員 東伊久雄

閉会中の継続調査

- 1、行財政改革について
- 2、広域消防について
- 3、防災について
- 4、産業振興について
- 5、上下水道問題について
- 6、人口減少対策
- 7、請願について

活動

- ・委員会の開催
- ・町内視察&調査
- ・研修&勉強会

町民の為の委員会



町内視察(伊勢路砂防ダム)

この委員会はその部門
に属する町の事務に関す
る調査、議案などを審査
する責務を担っており、
勉強会・視察・研修など
を行い、議員の資質の向
上に努力しています。
広島の土砂災害を踏ま
え、11月21日には、大江
急傾斜現場、伊勢路砂防
ダムの視察を実施しまし
た。また、土砂災害の危

険な場所として、宿浦急
傾斜未整備現場、宿浦砂
防ダムの調査を行いました。
当町にはまだまだ多
くの災害危険箇所があり、
早急に対応しなければと
認識しました。
当委員会は町民の為の
委員会であることを認識
し、行政の調査・審査を
行っていくします。

議会改革特別委員会

委員長 岡本 眞
副委員長 沢村 圭也
委員 全 員

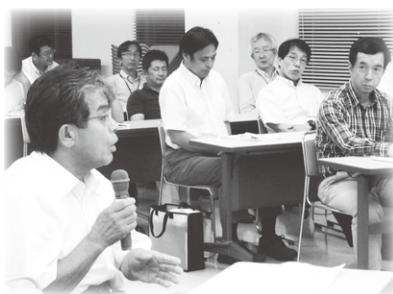
議会が進化することが目的

議会のあるべき姿の追及
議員一人ひとりの資質向上

今後の方向性
どのような活動をするべきか

■議員間で討論を繰り返し、2つの方向性を見い出しました

- ◎議会基本条例の制定を目指す
- ◎個々の資質向上のため勉強会の実施



第1回勉強会

私たちは7か月の間に
3回の勉強会と8回の委
員会、そして基本条例策
定のために作業部会5回
を開催しました。

2回目は「ふるさと納
税」について、担当の行
政経営課・税務課職員を
講師に、勉強会を行いま
した。

第1回の勉強会は「南
伊勢町を元気にするため
に、今、何をすればいい
のか」と題して三重中京
大学名誉教授の村林守先
生に講演をしていただき、
役場職員も含め、50名余
りが参加しました。

3回目は「議会基本条
例の作成について」と題
し、三重県市町総合事務
組合政策課 主査 杉谷
知也氏に条例作成につい
ての留意点をきめ細かく
学びました。

これまでの議会活動の
中では、各議員による議
員間討論が決して多くは
なかったため、8回の委
員会では、各議員の意見
が十分に理解し合えるよ
うに深い議論が行われま
した。
委員会で自分の意見を
述べることにより自己の
資質を高めることにつな
がると考え、今後も継続
していききたいと考えてい
ます。

つぶやき

■ホンマに町変えてさ

僕さ、今は名古屋に住んでるけど、こうやって休みになると地元に戻ってきてる。

この町が好きだから、お中元もお歳暮も地元の魚やミカンを買いにくるんやんな。

だから、ホンマ町変えてさ！将来は戻ってきたいからさ。でも今のままじゃ無理やわ、仕事ないもん。

それだけどうにかしたってよ。

(30代男性)

■議員さんもっと頑張って...

最近、議会が変わったとか、議会改革の委員会を立ち上げたとか耳にするけど、何か変わったんか？

テレビ見ててもしゃべる人はいつも一緒やし、質問聞いてても何が言いたいのかよう分らん。長ければ良いもんでもないし、話があっちゃこっちゃしてふざけているようにもみえる。もっとちゃんとまじめにやってほしい！

(60代男性)

■住みやすい所だと思う

自分の生まれた所は冬になると雪が何mも積もる長野の山奥で数年前から限界集落って言われてる。

それから見たら、同じ過疎化の地域でも南伊勢町は山も海もあって、高速道路も近く伊勢のすぐ隣で良い所。

町おこしの行事も上手くしてもらって、町外の若い人を呼んできて住んでもらいたいですね。

最初は地元の人に受け入れてもらえないかも知れないけど、何かしないと人は来ない。

(20代男性)

あなたも つぶやきませんか？

どんなことでも大丈夫です
(^^) /

みんなでつぶやきましょう。

思ったこと、感じてることを
200字程度でつぶやいて下さい。

※ハガキがFAXで送って下さいね。

〒516-0194

南伊勢町五ヶ所浦3057

議会事務局 宛

FAX 0599-66-2164

みんなの

■協力したらなな

今考えると、いい時代を生きてきたんやと思う。今と比べると、何もなかったけど、村に活気があった。自分もそうやけど、兄弟5、6人というのが当たり前で、こんなに子どもがおらんようになるとは思わなかった。これまで海の仕事しかしたことないけど今より魚もようけとれて、動いたら動いただけ金になった。おかげで子どもも3人もうけた。誰も地元に残れせんかったけど。今の若い人は生活していくのに大変やと思う。それやで自分に出来ることは、協力したらなな。

(70代男性)

■もっと見える施策を

国は、昨年から人口減少に対応していくため、地方創生に力を入れてきています。私たちの町にとっても少子高齢化、人口減少は最大の課題であり、町当局もその対策についてはあらゆる面で力を入れておられるとは思いますが。

とりわけ若者の定住対策を喫緊の課題として、昨年には若者定住対策担当の職員を配置するなど、積極的にその取組を強化しているとのことですが、これまで、また今、具体的にはどのようなことに取り組んでおられるのでしょうか？その施策の展開が見えません！人口減少が急激に進んできているわが町の現状を踏まえ、もっともっと見える具体的施策を早急に講じるべきだと思います。

(60代男性)

■平凡の非凡

この年齢になって思うことは、平凡であることの幸せです。

昔からよく言われている、「平凡の非凡」。若い頃は言葉の深い意味を理解できなかったが、最近昔の人が言った言葉の意味が少しずつ理解出来るようになった。そして若い頃あんなに嫌いだっただ田舎を愛し始めている自分がある。両親と暮らしそして見送り、子供家族が戻り、今ある自分が幸せなのは家族や地域のお陰なんです。

(60代女性)



みんなでやっとなで～

町内のがんばっている人を紹介します！

南伊勢町の平和を望む会 勢和会



設立 平成12年
団員数 40名

勢和会は平成12年に発足し、「本会会員の親睦を図り、平和で、明るく、楽しい地域社会づくりの一端を担うべく、他の何ものにもとらわれない自主的な行動を行う。」を規約目的とし活動しています。最初の活動として伊勢路にある通称“カップ橋”のイ

ルミネーションとカップの銅像にサンタの衣装を着せたり正月には袴への着せ替えを行いました。これが好評で、国道沿いということもあり県外の人たちが車を止め写真を撮っている姿をよく見かけます。また夏には手筒花火と打ち上げ花火を行っています。当然、手筒花火は痛みや火傷を伴いますが、終わった後の皆さんの歓声と笑顔で癒されています。この思いを次世代に残したいと、勢和会のバトンタッチをどうするか考えていたところ、今年18才を中心に、2代目勢和会が発足してくれました。これからも私たちの活動を通じて皆さんの笑顔が少しでも増えていただければ幸いです。



募 集

議会だよりでは町のがんばり屋さんを募集しています。自薦他薦は問いません。
※下記の議会事務局まで

議会広報特別委員会

委員	委員長	委員
倉田 育	河村 健志	東 伊久雄
掛橋 靖	田中喜一郎	

議長 上村 久仁

議会を傍聴しませんか

3月定例会が開催されます。
開催は3月3日～3月24日の予定です。
ぜひ傍聴してください。
(当日、総務課で受付をしてください)



編集後記



一年の始まりは、いつも気が引き締まる思いがします。今年も引き続き、町民の皆さまに親しんでいただける議会広報づくりを目指しがんばります。

まだまだ寒い日が続きますが、どうかお体をご自愛ください。今年も皆さま方にとって、幸多い年になりますようお祈り申し上げます。



議会だよりについて
のお問い合わせなどは、
議会事務局までご連絡
ください。

☎ 0599-661781
FAX 0599-662164